

福島第一原子力発電所 2号機窒素封入設備の流量計交換について

< 参 考 資 料 >
2019年7月4日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

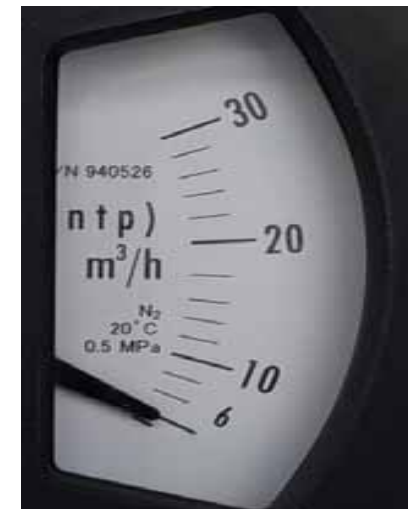
【概要】

- ・ 2号機のRPV窒素封入量は、2015年以降 $15\text{Nm}^3/\text{h}$ から低下傾向であり、窒素封入量の確認・記録として使用している監視計器(正)の交換（低流量域まで見れる計器）を検討していたところ、5月20日、監視計器(正)の測定範囲が、 $5\sim 50\text{Nm}^3/\text{h}$ ではなく、 $10\sim 50\text{Nm}^3/\text{h}$ であることが正しいと分かりました。
- ・ 一方で、同じく $10\text{Nm}^3/\text{h}$ が測定範囲の下限値である副計器については、5月20日午後7時30分時点で $10\text{Nm}^3/\text{h}$ の値を示しており、正しく測定できている（LCO状態ではない）ことを確認しています。
- ・ その後の対応として、当該計器を低流量が測定できる計器に交換するとお知らせしていたが、準備が整ったため、本日（7月4日）に計器交換を実施しました。作業中は、水素濃度の確認回数の増加や連絡体制の強化等の対策を講じ、問題なく計器交換作業が完了しております。
- ・ 今後、既存ラインから新規ラインに取替えることを予定しており、測定下限値 $0\text{Nm}^3/\text{h}$ の計器へ取替える予定です。（2019年8月頃予定）。

【交換前】



【交換後】



計器仕様表(抜粋)

設計測定範囲	\triangle_{FO}	$10\sim 50\text{m}^3/\text{H}(\text{ntp})$
計器目盛範囲		$10\sim 50\text{m}^3/\text{H}(\text{ntp})$

設計測定範囲		$6\sim 30\text{m}^3/\text{h}(\text{ntp})$
計器目盛範囲		$6\sim 30\text{m}^3/\text{h}(\text{ntp})$

窒素封入設備 全体概要図

